



東京国際空港地区における新設屋外タンク貯蔵所供用開始に伴う消防演習を実施

東京消防庁予防部危険物課

令和2年2月19日水曜日、石油コンビナート等特別防災区域に新たに指定された東京国際空港地区の三菱石油株式会社羽田支社（大田区羽田空港三丁目7番1号）において、新設屋外タンク貯蔵所供用開始に伴う消防演習が実施されました。この演習は、「東京湾北部を震源とした首都直下型地震により、事業所において作業員が受傷、さらに屋外タンク貯蔵所から危険物が流出し、火災が発生した」という想定で行われました。演習には、消防車両16台、消防艇1艇、蒲田消防団、三菱石油株式会社羽田支社自衛消防隊・自衛防災組織、東京危険物災害相互応援協議会※Aブロック事業所、東京都総合防災部、東京航空局東京空港事務所等の方々に参加し、土のうによる危険物の漏えい拡散防止活動や事業所の自衛防災組織と消防隊との連携による消火活動など、実践的な演習が行われました。最後に参加隊による一斉放水が行われ、石油コンビナート等特別防災区域の安全を守る勇姿に見学者からは大きな拍手があがりました。

※ 東京危険物災害相互応援協議会（通称「東危協」）は、昭和52年に都内の大規模危険物事業所が結集し、緊急時の事業所間の相互応援体制を確保する目的で設立されており、現在33事業所が加入し、5ブロックに分かれ、災害対応能力の向上及び自主保安管理体制の充実のため自主的な活動を実施しております。



事業所及び東京危険物災害相互応援協議会による土のうを活用した危険物流出防止活動



自衛防災組織によるホース延長



消防隊から東京航空局への情報伝達



自衛防災組織と消防隊による一斉放水